

「令和5年度旭区運営方針 主な事業・取組」の振り返りについて

基本目標

子育て世代をはじめ多くの方々に選ばれ続ける「ふるさと旭」の実現

| 主な取組 | | 担当課 | 事業内容 | 振り返り |
|---------------------------|-----------------------------|--|--|--|
| 1 安全・安心 | 災害に強いまちづくり～自助・共助・公助の充実～ | 総務課 福祉保健課 高齢・障害支援課 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災研修会の対象を中学生まで広げ、防災訓練の支援と担い手育成を図ります。 ・医療関係団体等と訓練・連絡会議を実施し、災害時医療体制を強化します。 ・福祉避難所へのコーディネーター派遣や開設運営訓練等の支援を通して、災害対応力の向上を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練(地域防災拠点:8月～3月 計34拠点:4505人、地区連合:6月～2月・計19連合:4,432人) ・共助をテーマにした防災研修会の実施:全8回、延べ56名参加 ・医療救護隊巡回診療用資器材の整備(6か所) ・災害医療連絡会議の開催(2月16日) ・通信訓練(年5回 6月、8月、10月、12月、6年2月) ・のぼり旗掲出訓練等(年1回 10月23日～10月25日) ・福祉避難所協定締結施設 66施設 ・福祉避難所連絡会(第1回:7月26日、第2回:2月21日) ・初動対応訓練 66施設中51施設実施(9月27日、後日実施の施設もあり) ・開設・運営訓練 30施設と区が連携して実施(10月10日、10月12日、10月20日、10月26日) ・災害時要援護者支援の取組実施自治会町内会の割合 97%(6年3月末) |
| | | 旭土木事務所 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災拠点等において地震災害時のトイレ機能を確保するための下水直結式仮設トイレ「ハマッコトイレ」を整備します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は4拠点で工事完了(旭区役所、中沢小学校、本宿小学校、左近山中学校) |
| | 防犯・交通安全対策 | 地域振興課 | <ul style="list-style-type: none"> ・「あさひ安全安心フェア」を開催するとともに、地域団体による自主防犯・交通安全活動を支援します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「あさひ安全安心フェア」を9月27日に開催 ・旭区まちぐるみ地域防犯推進事業助成金の交付(42団体) |
| | | 地域振興課 旭土木事務所 | <ul style="list-style-type: none"> ・特殊詐欺被害防止のため、旭警察署と連携し、振り込み詐欺対策電話録音機を貸与します。また、スクールゾーンの交通安全の支援、スタントマンによる事故再現による交通安全教室を実施します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・振り込み詐欺対策電話機の貸出(144件) ・スクエアドストレイト方式による交通安全教室の実施(中学生向け:参加者約1,270人、高齢者向け:参加者約60人)※道路局配布予算を含む ・各スクールゾーン対策協議会からの安全対策に係る要望について、グリーンベルト補修を行うなど対策を実施 |
| | 安全で安心な生活環境 | 生活衛生課 | <ul style="list-style-type: none"> ・飲食店へ衛生管理手法の周知・指導等や食事を提供するボランティア等への食中毒予防啓発を実施します。 ・地域ボランティアによる「旭区わんわんパトロール」や飼い主のいない猫対策の取組を支援します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・配食ボランティア等に向けた講習会を実施(5回、計134人) ・地域の見守りと散歩マナーの啓発活動をする旭区わんわんパトロール隊を募集(41人登録) ・飼い主のいない猫対策事業としてボランティア登録者19人、TNR実施地域29箇所、TNR実施頭数182頭。ボランティア連絡会開催(1回) |
| | | 地域振興課 | <ul style="list-style-type: none"> ・区民や事業者と協働し、地域清掃活動や不法投棄防止対策を実施します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地元町内会・商店街と区役所職員の協働による鶴ヶ峰駅周辺早朝清掃の実施(毎月1回。9月は雨天により中止) |
| | 地域活動や多様な取組のスタートアップやチャレンジの支援 | 地域振興課 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動を始めるきっかけづくりを目的とした「あさひみらい塾」の開催や、「あさひのつながり応援補助金」による活動立ち上げへの支援を行います。 ・旭区市民活動支援センター「みなくる」において、活動団体や活動を始めたい区民への支援や講座・イベントの開催、区民利用施設との連携を図ります。 ・自治会町内会活動をPRし、自治会町内会への加入促進と活動の活性化を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「あさひみらい塾」実施(全5回、16人)、「あさひのつながり応援補助金」の交付を通して活動の立ち上げを支援(6事業) ・「シニアのためのいきいき未来講座」実施(全6回、延べ108人)、「ICT活用講座」実施(全2回、延べ20人)、「生涯学習アドバイザー研修会」実施(1回、21人)、あさひ区民まつりでのワークショップ実施(来場者数652人)、「絵本の読み語り講座」実施(全3回、延べ24人)、「区民利用施設職員連絡会・研修会」実施(3回、延べ48人)、情報誌「みなくるだより」発行(年4回) ・自治会加入促進の啓発物品を作成し配布、地域紙に加入案内広告を掲載 |
| 福祉保健課 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングなどの運動や栄養・歯科・禁煙推進など地域の健康づくりの取組を支援します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・働き子育て世代を対象に、運動の啓発を目的としたウォーキングイベントを実施(2回、38組参加) ・「食育ランチオンマット」を働き子育て世代を中心に配布(1,550部)、データをホームページに掲載 ・食生活等改善推進員が中心となって、おにぎりあさひくんの人形劇による食育普及啓発を実施(63回) ・人形劇を基にしたデジタル絵本を作成しホームページで公開 ・親子歯みがき教室を開催(13回、120組参加) ・オーラルフレイルや歯周病予防に関する講演会等を開催(4回、77人参加) ・保健活動推進員による禁煙推進・受動喫煙防止活動を実施(12地区、13回) ・地域の健康づくり関連団体による健康フェアを旭ふれあい区民まつりにあわせて開催(2,520人参加) | |
| 地域振興課 | | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じて区民の健康づくりや地域のつながりづくりを支援します。また、心豊かな区民生活の充実を図るため、文化芸術活動を支援します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・区内で開催する文化芸術イベントを公募。審査を経て支援対象となった事業への補助金交付による活動支援(21団体、10,255人) ・横浜旭ジャズまつりの開催支援。プレコンサート 5月28日 旭公会堂/第32回 8月27日 こども自然公園(2,000人) ・第42回目旭区民文化祭の開催支援(10事業+区民作品展、2,287人) ・区民の読書意欲向上のため、旭朗読ボランティアの会 旭・久・恵の上野 廣氏(代表)による講演会を実施(全3回、12人) ・区内区民利用施設に大人向けおはなし会・朗読会関連図書を配本(13施設 計230冊) | |
| SDGsの目標達成につながるパートナーシップの推進 | 区政推進課 | <ul style="list-style-type: none"> ・「旭区SDGs月間(9月～10月)」として、地域における多様な活動・取組を広くPRし、SDGsにつながる行動の輪を広げていきます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「旭区SDGs月間(9月～10月)」として、特設サイト上で地域における多様な活動・取組をPR(計52件) ・旭区内のSDGsをさらに普及させるため、SDGsあさひくんを作成 ・多様な主体のパートナーシップを推進するため、連携を実施(空家の連携協定の締結、若葉台でのスマートシティサービス実現に向けた取組み) | |

| | | | |
|----------------------------|----------|---|---|
| 地域で支え合い安心して自分らしく健やかに暮らせるまち | 福祉保健課 | <ul style="list-style-type: none"> 働き・子育て世代が地域福祉保健活動に関心を持ってもらうための効果的な情報発信方法を検討します。 民生委員・児童委員、主任児童委員の活動をPRし、担い手の確保と活動の充実を図ります。 小学生を対象とした「ジュニアボランティア体験事業」を通じて、次世代の人材育成に取り組めます。 | <ul style="list-style-type: none"> ●地域福祉保健活動に関心を持ってもらうための働きかけや効果的な情報発信の手法を明らかにするため、ヒアリング調査及びアンケート調査を実施(令和6年3月27日記者発表) ・ヒアリング調査は、旭区で地域福祉保健活動を行う働き・子育て世代26名を対象として、令和5年6月にグループインタビュー形式で実施 ・アンケート調査は、住民基本台帳から無作為抽出した旭区内に居住する20歳から59歳までの区民2,500名を対象として、令和5年9月から10月にかけて、回答用二次元コード付きの調査依頼はがきを郵送し、インターネット回答で実施 ●区内小学5、6年生が民生委員とともに各種福祉活動に取り組むジュニアボランティア体験事業の実施、民生委員活動・制度の普及啓発を行い、地域のつながりづくりを推進 1 ジュニアボランティア体験事業～民生委員とともに～ ・旭区民生委員児童委員協議会への補助金交付による活動支援 【協議会の主な実施内容】 就任式の開催(8月1日、212人)、各地区での活動(8～12月)、体験発表会の開催(11月27日)、体験感想文集の発行(750部、3月) 2 民生委員活動支援事業 ・旭区民生委員児童委員連絡会への補助金交付による活動支援 ・連絡会主催で主任児童委員PRイベント(あさひ・ゆかいなコンサート)を実施(6月2日、282人) ・民生委員制度普及啓発(区民まつりへの参加、パネル展等の実施、普及啓発チラシ等の配布) |
| | 高齢・障害支援課 | <ul style="list-style-type: none"> 「旭区認知症ケアパスガイド」等を活用し、認知症の正しい知識や早期相談の重要性等の啓発を行います。 「認知症カフェ」や「介護者のつどい」を周知し、地域の支援者や関係機関とともに地域支援を進めます。 ・精神障害のある方が地域で安心して暮らせるよう、障害への理解を深めるためのセミナーや支援者向けの講座を開催します。また、ふれあいスポーツ大会開催などを通じて、社会参加の支援等を行います。 | <ul style="list-style-type: none"> ・認知症をみんなで支える地域支援連絡会(7/6開催) ・徘徊SOSネットワークシステム(登録者数:207人(6年3月末) うち見守りシール事業利用者182人(6年3月末)) ・旭区医師会と認知症疾患医療センターと旭区役所が考えた勉強会「認知症について知ろう!学ぼう!」(11月16日に実施) 当日オンライン配信、1月31日～3月31日アーカイブ配信 ・世界アルツハイマーデーにちなんだ啓発イベント: <ul style="list-style-type: none"> ①各包括エリアにおける普及啓発(協賛店訪問等) ②区役所における普及啓発・オレンジウィークとして区役所情報発信コーナーでパネル展示、資料配布(9月11日～9月22日) ・旭区版認知症ケアパスガイドの配布(1500部) ・旭区ふれあいスポーツ大会 6月16日 ボッチャ(47人) 10月30日卓球(114人) ・精神科嘱託医派遣事業 5回 ・地域精神保健福祉講座(区職員対象ゲートキーパー研修) 11月10日(24人参加) ・障害者施設健康増進出前講座 2回(計26人参加) ・旭区精神保健福祉セミナー 3月9日開催(323人参加) |
| | こども家庭支援課 | <ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり等の困難を抱える若者に対して、将来的な就労に向けた支援等を行います。 | <ul style="list-style-type: none"> ・協力事業者と連携した社会体験の提供(6人、18回) ・若者のための専門相談(月2回、9件) ・若者支援セミナー・相談会開催(1回、4人参加) ・困難を抱える若者支援に関する理解を促進するための講演会実施(1回、47人参加) |
| | こども家庭支援課 | <ul style="list-style-type: none"> ・他者との繋がりの中で安心して子育てができるよう地域の方や団体等と連携しながら、地域での子育て支援を充実します。 ・区内の保育・教育施設が、「あさひ子育てマルシェ」イベントなど様々な機会を通じ、生活や遊びなど幅広く子育て支援に取り組めます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育てガイドブック「とことこ」の作成(4,500部) ・こども家庭相談の周知用グッズの配布(1,800個) ・動画配信と併用して両親(母親)教室の開催(36回、576人参加) ・新生児のいる1,238世帯に対し、こんにちは赤ちゃん訪問により子育てに関する情報提供とともに共に記念品を配布 ・「妊娠・出産マイカレンダー」の配付(1,386人) ・「パパカレンダー」の配布(令和5年9月から配布 855人) ・地域育児(赤ちゃん)教室(112回、1,426人参加) ・発達支援事業所案内冊子「あさひっ子」の作成・配布(700部) ・子育て支援連絡会(2回 57人)学習会(1回 109人) ・幼児期からの子どもとのコミュニケーションやしつけについて、啓発及び支援に活用するリーフレットを作成(3,000部) ・区内の保育所等が連携し実施する子育て支援イベント「あさひ子育てマルシェ」の実施(5会場、参加人数:275人 参加組数:128組) |
| | 地域振興課 | <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶことへの興味・関心を持つきっかけづくりとして、小学生向けの各種体験講座を実施します。 ・読書活動の充実に向けて、読み聞かせボランティアの育成・支援を実施します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象とした「こどもみらい発見教室」(8月、低学年9組・高学年13人)、「サイエンス教室」(1月、35組82人)、「プログラミング教室」(2月、27人)を開催 ・青少年の読書への関心を高めるため、市内在住・在学の中高生によるビブリオバトル大会を実施(7月29日 参加者8名) |
| | 旭土木事務所 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが安全・安心で快適に利用できるように、公園の遊具等の改修を実施します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・9公園で公園の遊具等の改修を実施(神田公園、二俣川大藪公園、白根公園、ひかりが丘第二公園、万騎が原第五公園、万騎が原第九公園、白根八丁目第二公園、四季美台第二公園、鶴ヶ峰公園) |
| | 旭土木事務所 | <ul style="list-style-type: none"> ・ハマロード・サポーター(道路)や、公園愛護会(公園)、水辺愛護会(河川や水辺施設)等のボランティア団体の方々が行う美化活動等を支援し、地域と連携した良好な公共空間の形成を進めます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動団体に対し必要な物的支援を行うなど、地域と連携した取組を実施 |
| 地域と連携した公共空間の美化活動等の支援 | | | |

| | | | | |
|------------|-------------------------------------|-------|---|--|
| 3 魅力づくり | 2027年国際園芸博覧会の認知度向上に向けた取組と豊かな自然の魅力発信 | 区政推進課 | ・「旭オープンガーデン」や「旭区フォトコンテスト」の開催をはじめ花いっぱい事業や緑のカーテンづくりなど、花や緑、園芸に親しめる取組を通じて自然豊かな旭区の魅力を発信し、2027年国際園芸博覧会GREEN×EXPO 2027の認知度向上と機運醸成を図ります。 | ・旭オープンガーデン、旭区フォトコンテスト、ワークショップ開催などのイベントを実施したり、区庁舎エレベーターラッピング、オブジェ巡回展示、相鉄バスへの広告パネル掲示、公共施設への横断幕掲出などの広報物を拡充したりと、機運醸成に資する多様な取組を実施 |
| | 「農」の魅力PR | 地域振興課 | ・区内の直売所マップを新たに発行し、地産地消を推進します。 ・旭区産の野菜を販売する「あさひの朝市」の開催や収穫体験イベントや農業体験を通じて旭の農の魅力をPRします。 | ・「あさひ直売所&地産地消マップ」の発行(3月) ・あさひの朝市開催(区役所12回、区民利用施設2回) ・収穫祭の開催(2回、34組100人) ・サツマイモを苗植えから収穫・料理教室を行う農業体験を実施。あわせて、区内畑見学や管理栄養士によるミニ食育講座を開催(年5回、8組27人) |
| | 旭区ならではの魅力発信 | 地域振興課 | ・畠山重忠公ゆかりの地をはじめとした区内の文化・観光スポットをPRします。 ・「あさひの逸品」冊子の改訂やキャンペーンの開催等により商業の振興を図ります。 ・マスコットキャラクター「あさひくん」の普及啓発のため、ARフォトフレームの活用や画像データの貸出を行います。 | ・あさひくんARフォトフレーム(季節)の新規作成、フォトフレームやイラストの公開(10種類) ・あさひくん画像データの提供(84件) ・畠山重忠公情報スポットを相鉄線「鶴ヶ峰駅」直結の旭区市民活動支援センター「みなくる」内にオープン ・「あさひの逸品」冊子改訂およびキャンペーンを開催 |
| | 働く場の創出・転入定住促進 | 区政推進課 | ・左近山団地に、オフィス機能を含む「働く場」である「トリオ左近山」を開設し、利用実態や効果を多角的に分析・検証する「実証実験」を行います。 ・区の魅力積極的に発信し子育て世代の転入・定住に繋がります。 | ・左近山団地に「トリオ左近山」を開設(5月) ・「トリオ左近山」の利用実態や効果を分析・検証する調査委託を実施 ・里山ガーデンフェスタや旭ふれあい区民まつりなどのイベントにブース出展し、フォトコンテスト受賞作品の展示して旭区の魅力PRするとともに、旭区ウェルカムガイド「Asahi Style」や子育て世代向け交流アプリ「ピアッザ」のチラシを配布し、旭区への転入・定住促進につながる情報を発信 |